

糖尿病は様々な合併症を生じ、その全てが患者の生活の質を著しく低下させるため、糖尿病そのものだけでなく、これらの合併症も軽減することが強く望まれる。一方、近年 ω -3系脂肪酸による抗炎症効果や細胞保護効果など様々な効果が報告されており、糖尿病合併症に対する治療効果も期待されている。そこで今回我々は、Streptozotocin (STZ) によって糖尿病ラットを作製し、合併症として発生する網膜障害と過活動膀胱に対する ω -3系脂肪酸：エイコサペンタエン酸 (EPA) の効果について検討した。STZ 投与から8週間 EPA (5%) を毎日混餌投与したところ、網膜電図の律動様小波に改善が見られた。また過活動膀胱の評価においても EPA 投与によって有意な改善が確認された。これらのことから、糖尿病による網膜・膀胱の機能障害に対し、EPA の摂取による機能保護効果の可能性が示唆された。

網膜電図で観察される糖尿病ラット網膜障害と EPA による機能保護効果

